

令和6年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 安田吉宏議員

令和6年度当初予算は、柴田市長が編成段階から本格的に関わられた初めての予算となりますが、防災をはじめとした安全安心を一丁目一番地とし、子育て支援、教育、都市基盤整備、物価高騰対策など、各分野に余すところなく配慮がされた内容となっております。

一般会計の予算総額は、前年度当初予算から11%増加の284億4,000万円で、過去最大となりましたが、これは、全国各地で発生している災害や、長引く物価高騰などに対する市民や事業者の不安解消や、第六次総合計画のめざすまちの未来像実現に向けた力強い決断の表れであると高く評価したいと思います。

また、昨年10月末に、当会派から提出させていただきました令和6年度予算編成に伴う要望書の内容につきましても、随所に予算案に盛り込んでいただきましたところを深く感謝したいと思います。

それでは、具体的に5つの分野について評価させていただきます。

まず1つ目は、安全・安心の分野についてです。この安全・安心の分野は、特に、市長の強い思いを感じることができる分野です。

特に、防災に関しては、指定避難所である公民館や東部市民センター、中学校体育館への空調整備やトイレ洋式化など、懸念であった避難所の環境改善のほか、輪島市への職員派遣での経験も踏まえて、集約型の防災倉庫新設を決断されるなど、能登半島地震で浮き彫りとなった課題への速やかな対応に敬意を表したいと思います。

これらの環境整備は、防災対策としてだけでなく、ふだんから公民館や東部市民センターを利用される方の利便性向上や、学校生活における熱中症対策として、市民から要望の高いものであり、その効果にも大いに期待をしているところであります。

また、安全・安心の分野では、ほかにも南原山地区に加え、平子地区の浸水対策や、自転車のヘルメット購入補助の対象拡充が盛り込まれるなど、市民の安全を守ろうという、市長の強い意志が伺えるものであります。

次に、2つ目、健康・福祉の分野についてです。

新年度予算には、当会派の9項目の重点予算要望事項で1番目に記載いたしました带状疱疹ワクチンの予防接種費用の一部助成をはじめ、若年がん患者の在宅療養費助成制度の導入、産婦の産後ケア体制の充実など、市民の安心につながる重要な項目を多く実現していただきました。市民や当会派からの要望を受け止め、実現していただきましたことに感謝申し上げます。

3つ目は、子育て支援・教育の分野についてです。

この分野では、本地ヶ原保育園の園舎増築への着手や、児童館の空調整備など、子育て施設の環境改善などのほか、小学校トイレ洋式化の完了や、学校現場の声を取り入れた小中学校の施設整備など、ハード面での充実はもとより、瑞鳳小学校区での民間学童クラブの開設支援や、小学校水泳授業の民間プール活用校の拡充、児童生徒の居場所づくりや学びの場の提供など、ソフト面での充実も図られています。子育てしやすいまちの魅力を高める内容であり、高く評価できるものであります。

4つ目は、都市基盤整備の分野です。

三郷駅周辺まちづくり事業が本格的にスタートするほか、印場駅自由通路北側のバリアフリー化への着手、北原山土地区画整理事業の早期完了に向けた組合支援など、少子高齢化や人口減少が進む中で、今後のまちの将来を左右する、本市のさらなる発展につながる投資が盛り込まれています。健全な財政運営に配慮しながら、着実に事業が進められることを期待しております。

最後、5つ目は、物価高騰対策の分野についてです。

長引く物価高騰で、多くの市民や事業者は今後の生活や事業活動に不安を抱えています。新年度予算では、国民健康保険税の激変緩和のために思い切った財政支援が行われるほか、保育園や小中学校の給食材料費高騰分の公費支援も継続して行われます。また、事業者向けには、設備導入も新たに対象に加えた省エネ設備投資促進補助金など、市民や事業者の不安を解消し、社会経済活動の回復を確かなものとするため、必要な施策が盛り込まれており、評価できるものであります。

新年度予算は、先ほども述べましたように、過去最大規模の積極型の予算ではありますが、堅調な市税収入や、過去最高額を保有する財政調整基金残高など、財源の裏づけと、計画的で堅実な財政運営に基づくものであると認識しております。

新年度予算は、これまで申し上げましたように、市長のまちづくりに対する情熱、強い思いがこもったものとなっており、これを高く評価し、皆様の賛同をお願いいたしまして、私の賛成討論とさせていただきます。